同時代を生きた二人の作家

吉屋信子と宇野千代



吉屋信子（国立国会図書館「近代日本人の肖像」より）

吉屋信子（明治29年〔1896〕～昭和48年〔1973〕）と宇野千代（明治30年〔1897〕～平成8年〔1996〕）は、同時代に活躍した日本を代表する作家です。令和8年（2026）は、吉屋の生誕130年、宇野の没後30年、令和9年（2027）は宇野の生誕130年に当たります。

互いに影響し合い、認め合った二人は交流を深め、親しい関係を築きました。昭和14年（1939）に宇野が小説家の北原武夫と結婚した際には、吉屋が画家の藤田嗣治とともに媒酌人をつとめています。

また、宇野は昭和20年（1945）に夫の北原の郷里であった壬生町に疎開したり、昭和42年（1967）に那須に別荘を建てたりと、栃木県ともゆかりのある人物です。

本展では、重なる履歴も多く、同時代に活躍した二人を、館蔵資料の著作を中心に紹介します。



宇野千代（国立国会図書館「近代日本人の肖像」より）

関連イベント

＊各イベントの詳細については、公式サイト等をご確認ください

① 講演会

㋐ 演題：「宇野千代の生涯」

講　師：川本瑞貴氏（世田谷文学館）
日　時：令和9年1月24日（日）13時30分～15時（開場：13時10分）
会　場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）大交流室（1階）
参加費：無料
対　象：どなたでも（小学生未満は保護者同伴）
定　員：50名（要事前申込）
申込方法：電話（文学館　0282-25-5400）
申込期間：令和8年12月1日（火）10時～（先着順）

㋑ 演題：「吉屋信子と宇野千代」

講　師：秋元薫氏（県立神奈川近代文学館）
日　時：令和9年2月28日（日）13時30分～15時（開場：13時10分）
会　場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）大交流室（1階）
参加費：無料
対　象：どなたでも（小学生未満は保護者同伴）
定　員：50名（要事前申込）
申込方法：電話（文学館　0282-25-5400）
申込期間：令和8年12月1日（火）10時～（先着順）

② 伴奏つき朗読会「吉屋信子紙芝居」

講　師：おとのえほん
（朗読：舘野知美氏、伴奏：大塚裕子氏）
日　時：令和8年11月23日（月・祝）
13時30分～14時
会　場：文学館1階とちぎサロン
参加費：無料
対　象：どなたでも（小学生未満は保護者同伴）
定　員：30名（イス席、先着順）＊立ち見は可能です。
申　込：事前申込なし

③ ワークショップ「ロゼットを作ろう!」

講　師：文学館職員、美術館・文学館サポーター
日　時：令和8年12月6日（日）10時～12時
会　場：文学館1階とちぎサロン
参加費（材料費）：300円
対　象：中学生以上
定　員：8名
申込方法：電話（文学館　0282-25-5400）
申込期間：令和8年11月10日（火）10時～（先着順）

④ 学芸員によるギャラリートーク

日　時：10月18日（日）、令和9年1月17日（日）、
3月21日（日）各回13時30分～14時
会　場：企画展会場（2階多目的室）
参加費：無料（高校生以上は、当日の企画展観覧券が必要）
＊各日家庭の日のため、中学生以下の方の
同伴者2名まで観覧無料
対　象：どなたでも
申　込：事前申込なし

⑤ 家庭の日イベント 文学館で絵本を読もう!

日　時：毎月第3日曜日　9時30分～17時
会　場：文学館1階とちぎサロン
参加費：無料
対　象：どなたでも　　申　込：事前申込なし

栃木市立美術館 Tochigi City Art Museum ― 企画展のご案内

「絵師も動物も、人気モノ勢揃い　動物たちの浮世絵」 令和8年10月10日（土）～12月13日（日）

「刑部人展」 令和9年1月16日（土）～3月22日（月・祝）

栃木市立文学館 Tochigi City Literature Museum

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-31
TEL 0282-25-5400
FAX 0282-22-5169

開館時間　9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日　毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日休館）
祝日の翌日（祝日の翌日が土曜日・日曜日・祝日の場合は開館）
年末年始（12月29日～1月3日）
＊その他、事情により臨時休館する場合があります。当館公式サイト等でご確認ください。

アクセス
電　車　栃木駅（JR両毛線、東武日光線）下車、北口から徒歩約20分
バ　ス　栃木駅（北口）からふれあいバス「市街地循環線（西回り）」等で「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分
車　東北自動車道　栃木ICから約10分

＊都合により、会期やイベントが変更となる可能性があります。
詳しくは、公式サイト等でご確認ください。

	区　分	一　般	中学生以下
観覧料	企画展・常設展（2階）	330円（260円）	無　料
	常設展のみ（2階）	220円（170円）	
	小平浪平翁記念室ほか（1階）	無　料	
	文学館年間観覧券 ＊発行日より1年間有効	600円	—
	美術館・文学館共通券 ＊同館の企画展会期が重なる時期のみ発行	900円	—

＊（　）内は20名以上の団体割引料金
＊身体障害者手帳等の交付を受けている方とその介助者1名は無料
＊M割、東武沿線美術館連携事業等の割引制度あり（併用不可）
＊年間パスポート、前売り券、美術館との共通券（企画展会期中のみ）あり
＊毎月第3日曜日は「家庭の日」として、中学生以下の方の同伴者2名まで観覧無料
＊11月3日（火・祝）は文化の日のため観覧無料



栃木市立美術館・文学館企業等サポーター（令和8年9月1日現在、口数、申込順）
栃木信用金庫、株式会社ホンダカーズ栃木中央、株式会社呉光製作所、トヨタホーム株式会社栃木事業所、ケーブルテレビ栃木株式会社、医療法人　野﨑医院